

教育センターニュース

ミネルバ

97号

佐賀県教育センター <http://www.saga-ed.jp/>
〒840-0214 佐賀県佐賀市大和町大字川上
TEL 0952-62-5211 FAX 0952-62-6404

特集記事

現場に役立つ教育センターを目指して
自ら学び続ける教師を目指して

課題に応じた多彩な研修講座の開催

INFORMATION 知っ得情報

全国津々浦々の自己研修資料が大増量！
教育論文・マルチメディア教材応募期間迫る！



現場に役立つ教育センターを目指して

副所長 武富 與一郎



県教育センターは、先生方に親しまれ、広く愛され、学校現場に役立つ教育センターとなるよう、高感度かつ好感度な教育センターを目指して努力を重ねているところです。

「わかる授業」、「魅力ある授業」の実現に向けて力を注いだり、「所外援助や所内援助等の推進」、「研究協力委員や研究協力校との連携強化」等を積極的に進めたりしています。そのような教育センターの取組を重点化し、年度初めの、教育長ミッションに対する「教育センターの実行宣言」を中心に据えて行っています。以下、教育センターが「今、実践していること」や「今後、業務をどのように推進していくのか」についてお知らせしたいと思います。

活力のある教育センターを目指して、全職員は日々業務に励んでいるところです。現場の先生方の御理解をいただき、教育センターの有効な御活用をお願いいたします。

< 平成17年度 教育センター実行宣言 >

- 1 時代の変化や県の教育課題に対応したタイムリーな研修講座(新設7、改編・統廃合11講座)を設定し、すべての講座の内容を再構成します。
- 2 長期研修事業では、県の教育課題(6つの研究課題)の解決に取り組み、年度末には成果の発表会を行います。また、Webでの発信も行います。
- 3 プロジェクト研究については、センター所員と先生方との共同研究を行い、県の教育課題に直結した研究を実践します。年度末には研究成果の冊子を配布し、Webにより具体的な方策・改善策を学校現場に提案していきます。
- 4 センターHPの中の「全国津々浦々! 自己研修資料」の充実及び強化を図ります。
- 5 専門研修のすべての講座でコンピュータ活用の実践例を提示し、受講教員のスキルアップを図り、「コンピュータを活用した授業」のできる教員の割合を増やします。また、学校HP開設100%を目指し、各学校のHP更新を積極的に働きかけます。
- 6 特別支援教育への移行を円滑に行うため、小中学校の新任管理職研修を実施します。また、特別支援教育コーディネーター養成研修や個別相談の充実を図ります。
- 7 基礎学力の現状について、学校教育課と連携して12月上旬に学習状況調査を実施し、3月までに集計結果を公表します。(対象:小学校5年生・6年生、中学校1年生・2年生)
- 8 研修講座の受講申込手続きを簡素化するために、年度内にオンラインシステムの構築を行います。また、試験運用を2月の教育実践交流会申込みで実施し、18年度から本格運用します。

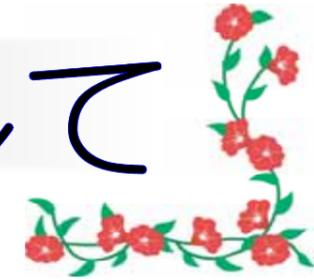


「ミネルバ」はローマ神話に由来する学問・知恵を司る女神の名前です。女神の連れているフクロウは知恵の象徴で、「黄昏に飛び立つ」と言われています。時代が新しく転換していく状況の中で、叡智をもって飛躍し、そこから新しい時代を切り開いていこうという願いが込められています。





自ら学び続ける教師をめざして



教育センターでは各学校の様々な教育実践課題に応じた多彩な研修講座を行っています。

教員としての資質・能力の向上を図るための初任者研修
「初任者宿泊研修」

8月22日～24日、北山少年自然の家にて宿泊研修が行われました。「引率者としての心構えと技量を身に付ける」をテーマに、野外炊飯や登山、救急法等の研修を積みました。参加者からは「様々な活動を班で協力して達成したときの喜びは大きかった」「今回の学びを学校で生かしていきたい」との声が寄せられていました。



(救急法の基礎を学びました)

効果的な図書館活用についての理解を深めるための研修
「図書館教育講座」

関西学院高等部 詫間紘一先生の「学校図書館を活用した学び方の指導」についての講義は、豊富な論文指導の実践を基にした説得力のある内容で、会場は、詫間先生のユーモアあふれるお話に引き込まれました。調べ学習の展開案をグループで話し合い、発表しました。



(きめの細かい論文指導が、生徒一人一人の力を育てています)

特別な支援を必要とする児童生徒への対応のための研修
「気になる子どもの理解と支援講座」

杉並区立中瀬中学校の月森先生のコーディネートのもと、受講者が「校内委員会」を想定し、校種別の事例に対する具体的な子どもの支援について、話し合いました。「自分の学校の特別支援教育体制作りの一歩を、踏み出すことができそう」という声が聞かれました。



(いろいろな立場や視点から、子どもの支援を考えました)

人権・同和教育の充実を図る研修
「参加体験型人権・同和教育講座」

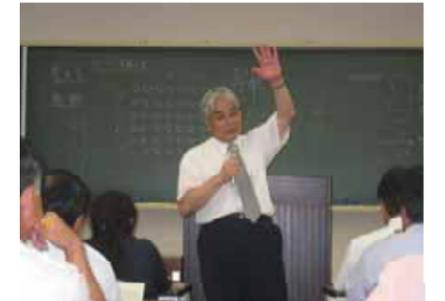
今年度からの新規講座です。人権・同和教育に関する参加体験型学習の手法を、学習者とファシリテーター(学習促進者)双方の立場を体験することにより、理解することを目的としています。受講者からは、「協力する体験を通して自他の大切さに気付かせることもできる」という声が出ていました。



(実際に学習者となって参加体験学習に取り組みました)

小学校算数の授業づくりのための研修
「小学校 算数科講座」

「対象に積極的に働き掛ける子どもたちを育てていきましょう」という講義のテーマでした。「見える」「共有」「共感」を意識して授業をすることが大切であると、國學院大学栃木短期大学教授の正木孝昌先生より、演習を通して具体的に教えていただきました。



(生きた授業づくりのヒントを教えていただきました)

研究協力校等で、センター所員が授業を行いました。



〔参加者の声〕
英語を使ったゲームやポップコーン作りなど、子どもの立場で楽しく模擬授業を受けることができました。

「小学校 英語活動講座」



〔参加者の声〕
子どもたちは夢や希望をもつことについて考えを深めていました。ねらいに迫る資料の在り方等を学びました。

「小学校 道徳講座」



授業研究会では意欲的に意見交換が行われ、参加された先生方の授業力アップにつながりました。



〔参加者の声〕
日本の伝統色の指導を通し、日本人の繊細な感覚に気付かせたり、身近な材料を使った絵の具づくりを行いました。

「中学校 美術講座」



〔参加者の声〕
生徒たちは、歌の情景を思い浮かべながら豊かに表現ができました。十分に満足感を味わっていたようです。

「中学校 音楽講座」



〔参加者の声〕
教育機器を活用した授業展開でした。授業中に生徒作品が多く提示され、生徒たちにも非常に好評だったようです。

「高校 英語講座」





INFORMATION 教育センター知っ得情報

全国津々浦々の自己研修資料が更に使いやすくなりました！
- コンテンツ総数がおよそ2400件から14200件に大増量！！ -

2005年9月15日 更新
**全国津々浦々！
自己研修資料**
各都道府県の教育センターを中心に全国のサイトで公開中の授業に役立つ教材や指導案、研究物を紹介しています。☺使い方(PDF)

小学校の教科・領域

中学校 高等学校 特別支援

- 国語
- 社会
- 算数
- 理科
- 生活
- 音楽
- 図画工作
- 家庭
- 体育・保健
- 道徳
- 特別活動
- 情報教育
- 総合的な学習の時間
- 生徒指導(教育相談と特別支援を含む)
- 学級・学校経営
- 人権・同和教育

 佐賀県教育センターのホームページ「全国津々浦々！自己研修資料」では、授業に役立つ学習コンテンツ（写真・動画・ワークシートや指導案、実践事例など）を校種や教科別に紹介しています。いつでも、どこからでも、佐賀県教育センターのホームページにアクセスして、自己研修や校内研修にお役立てください。

重要 「全国津々浦々！自己研修資料」の入手方法！！

- 1 佐賀県教育センターにアクセスする。
- 2 トップページサイドメニュー（左側の部分です）の「全国津々浦々！自己研修資料」の校種を選択します。（ ）
- 3 教科・領域を選択します。（ ）（下記の画面が表示されます）
- 4 あとは、先生方の実践に役立つコンテンツを選択してください。

<ここが便利！ここがスゴい！イチオシのサイト！！>

- 1 「小国・小算」の『漢字、計算プリント作成ソフト』（編：Hirosaki Maruyama）全学年、全単元の問題を段階別に何種類も即座に作れる。学校でのスキル学習の大応援団！
- 2 「高地歴」の『世界史講義録』（編：金岡 新）現場高校教師による授業の再現！世界史の面白さが通史として伝わる貴重なサイト



授業・自己研修・校内研修のための資料集

トップ>>高等学校地理歴史

ここで紹介している資料や、その他教科の指導に関する情報は教育センターの高等学校地理歴史担当まで、お気軽に電話0952-62-5211やメールでお問い合わせ下さい。

ハイパーテキスト指導案 知恵の教室/知恵の工房 全国津々浦々！教材・指導案リンク集 教科別リンク集

授業に役立つ教材・指導案・実践事例 自己研修のための研究物・手引書 キーワードで探すサイト検索

2005年度 2006年度 全学年

分野	資料名(出典サイト)	教材	指導案	実践事例
1	一瀬上人絵巻および福島県教育センター	-	-	HTML

教育センターホームページで全国津々浦々の情報がリアルタイムで入手できます！

平成17年度
教育論文・マルチメディア教材
“**応募期間迫る！**”

応募期間と提出先は……
市町村立幼稚園・小学校・中学校
各教育委員会へ
10/31(月)～11/14(月)
県立学校
直接教育センターへ
11/21(月)～11/28(月)
先生方の熱意あふれる研究実践
を楽しみにお待ちしております。



<編集後記>
県内各地で、研究発表会真っ盛り。
研究の成果は、先生方が子どもたち
とともに毎日積み重ねてこられたものの集大成であり、今後の教育実践の礎ともなるものです。教育センターには、やる気みなぎる23名の長期研修生も入所し、頑張っています。
切磋琢磨して自分を磨きたい「秋」です。
佐賀県教育センター <http://www.saga-ed.jp/>

